

第14回ジェンダー史学会年次大会 公開シンポジウム(一般参加歓迎)

2017年12月17日(日) 於:奈良女子大学

G
H
GENDER HISTORY



ジェンダー史が拓く 歴史教育

ジェンダー視点は歴史的思考力をどう鍛えるか?

開会挨拶・趣旨説明 13:30~13:40

趣旨説明 ジェンダー視点に立つ歴史教育の課題
三成 美保(奈良女子大学教授)

第1部 13:40~15:00

歴史教育改革とジェンダー——高校新科目「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」への提案

報告1 高校歴史教育改革とジェンダー主流化

小浜 正子(日本大学教授)

報告2 ジェンダー視点をどう取り入れるか——高校歴史教育の現場から

川島 啓一(同志社高等学校教諭)

コメント1 女性史とジェンダー史——ジェンダー射程を考える

長 志珠絵(神戸大学教授)

コメント2 高校歴史教育でLGBTIをどう教えるか?

三成 美保(同前)

第2部 15:10~16:25

歴史を読み替える——ジェンダー視点で鍛える歴史的思考力

報告3 「家/家族」の社会的機能をどう考えさせるか?——前近代日本史から

久留島 典子(東京大学教授)

報告4 植民地支配のジェンダー分析——アフリカ史の場合

富永 智津子(宮城学院女子大学キリスト教文化研究所研究員)

報告5 戦争・紛争と性暴力

成田 龍一(日本女子大学教授)

コメント3 高校歴史教育で慰安婦問題をどう教えるか?

姜 聖律(大阪府立桃谷高等学校教諭)

第3部 16:30~17:40

総合討論——ジェンダー史の可能性

司会:井瀬瀬 久美恵(甲南大学教授)/三成 美保(同前)

◆12月17日(日) ジェンダー史学会 受付開始(9:30) 自由論議発表(10:00~12:25) [パネルディスカッション(10:00~12:10) 総会(12:45~13:15) シンポジウム(13:30~17:40) 茶話会(18:00~19:00)]

◆奈良女子大学には「奈良女子大学イベント託児システム」があります。ご利用希望の方は下記センターまでお問い合わせください。

◆12月16日(土) 開催イベントのお知らせ:女性史学賞授賞式(13:00~16:30 上野千鶴子氏「志を受け継いで」・女性史学賞授与式 於:奈良女子大学記念館)

●会場:奈良女子大学 S235教室 (近鉄奈良駅 北へ徒歩5分) <http://www.nara-wu.ac.jp/>

●主催:ジェンダー史学会 <http://ghaj.jp/>

●共催:奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究中心/高連携歴史教育研究会
科研費基盤研究(A)「ジェンダー視点に立つ『新しい世界史』の構想と『市民教育』としての構築-発信」(代表:三成美保) [比較ジェンダー史研究会 <http://ch-gender.jp/wp/>]

●後援:日本ジェンダー学会/ジェンダー法学会

●問い合わせ先:奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究中心(電話番号:0742-20-3611)

E-mail: a-gender.c@cc.nara-wu.ac.jp (*を@に書き換えてください)

参加費(資料代)

- 会員 1000円
- 一般(会員以外) 1000円
- 院生 500円
- 学生 無料